

# 広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘  
編集 川口町役場企画課  
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)



東京狛江市からも100名参加。「とら」の雪像をバックに雪上ゲームやもちつき大会、「ぼこ」揚げを楽しんだ。

おもな内容	第8回町民雪まつり	2~3	新木沢トンネル(仮称)	
	いつまでも住み続けたい町へ	4~5	S62着工へ	8
	3月定例会	6	スポーツコーナー	9
	転作	7	お知らせコーナー	10~12

### 講演会

とき 昭和61年3月9日(日)  
午後1時半開演  
ところ 川口町文化会館2F  
演題 「魚野川文化史」  
講師 田辺萬次郎氏  
主催 川口町教育委員会・川口町公民館  
後援 東部地区館  
入場は無料です。多数ご来場下さい。

- ① 除雪機械の借上料
  - ② 雪下ろし等を町内会等で行った場合の分担金
  - ③ 雪下ろし用の消耗品
  - ④ 雑損控除計算式
  - ⑤ 雑損控除の範囲
  - ⑥ 屋根の雪下ろし
  - ⑦ 家屋の外周の雪の取除き
  - ⑧ 取除いた雪の河川等への投棄
- ▽昭和六十一年の確定申告をするために領収証を保管してください。
- (昭和六十一年一月〜十二月の一年間)
- ▽雑損控除の範囲
- ① 屋根の雪下ろし
- ② 家屋の外周の雪の取除き
- ③ 取除いた雪の河川等への投棄
- ④ 人夫賃+食事
- 具体例

あなたの財産を  
お確かめください

固定資産課税台帳の従覧  
三月一日〜二十日

昭和六十一年度の固定資産課税台帳(土地・家屋・償却資産)を三月一日〜二十日の二十日間、税務課で従覧します。

この機会に課税価格などをお確かめください。

▽期間  
三月一日〜二十日

▽場所  
(役場の執務時間内)  
町役場税務課

61年中に受  
取った雪下  
ろし費用等  
の金額

5万円

所得の合計額  
が50万円まで  
の人は所得の  
10%以内  
控除額

▽手続き  
確定申告書につけるか見える。領収書がない場合家計簿等で示してください。この場合来年の申告になります。



## 豪雪見舞いありがとう

① 町建設業協会	20万円
② 新潟相互銀行	10万円
③ 第四銀行	5万円
④ 北越銀行	5万円

## 火の用心

火事がひんぱんに発生しています。  
火の元のチェックは万全に!



人口	6,560人	昭和61年3月1日現在
男	3,231人	
女	3,329人	
世帯数	1,519戸	



▶ 開  
会  
式



▶ かんじきレース



▶ 距離リレー (小学女子)



▶ 距離リレー (小学男子)

### 第8回 町民

# 雪で苦しんだ分



残雪の中から春の鼓動が聞えるすばらしい晴天に恵まれた去る三月二日、第八回町民雪まつりが、運動公園で行われ、雪上レクリエーションや距離競技に、今年から初めての東京狛江自治会や町民約二千名が参加し、楽しい一日を過ごしました。

多目的広場をメイン会場に①コミュニティ広場②ふるさと広場③スポーツ広場の三会場に分けられ、思い思いの競技を楽しみました。

開会式において、東京狛江自治会の代表(かわいい女の子)から青柳町長へ花束が送られ、青柳町長からは同自治会へ町の特産品を送り、友好の輪を広げました。

午前の部は距離競技からスタート。町内小中学生を中心に自己ベストへ挑戦。

コミュニティ広場のメインは「とら」の雪像(高さ三メートル、長さ二十五メートル)。この雪像をバックに①ストライクノ、あなとも名選手②おたのしみレ

## 東京 狛江市からも100名参加

お昼近くになると、子ども達の人気者サンバルカン(太陽戦隊)も登場。

東京からの人達は雪がめずらしく、雪上レクリエーションにすべて参加し、歓声を上げながら雪を楽しんでいました。

ふるさと広場は「かまくら」をバックに恒例のもちつき大会や豚汁サービス、今年始めて参加した「ぼこ揚げ(蚕の意味)にみんな大喜び。

雪まつりのフィナーレは、「どんど焼き」。青柳町長と小學生、東京狛江団地時田会長の三名が点火。赤い炎を前に町民の安全と町の発展、都市と農村との交流の輪がさらに広がることを参加者一同祈願しました。三年連続豪雪にみまわれ、厳しい冬を乗り越えた喜びと新しい仲間(東京狛江市)を迎え、雪に苦しんだ分、雪と楽しんだ一日でした。

### 雪まつり

# 楽しんだ!!



▶ おたのしみレース



▶ トン汁、もちつきサービスクーナー



▶ サーフインレース

- 雪まつり距離競技優勝者 (小学生)
- ▽四年男子 星野 学(泉水)
  - ▽四年女子 佐治恵美(泉水)
  - ▽五年男子 関 真一(泉水)
  - ▽五年女子 岡村希美(川口)
  - ▽六年男子 真島智志(川口)
  - ▽六年女子 星野とも子(泉水)
- (中学生)
- ▽男子 綱 和正(武道窪)
  - ▽女子 国枝尚子(川口)
- (リレー)
- ▽小学男子 泉水チーム
  - ▽小学女子 川口チーム

▶ 東京と川口一緒にもちつき



▶ どんど焼き



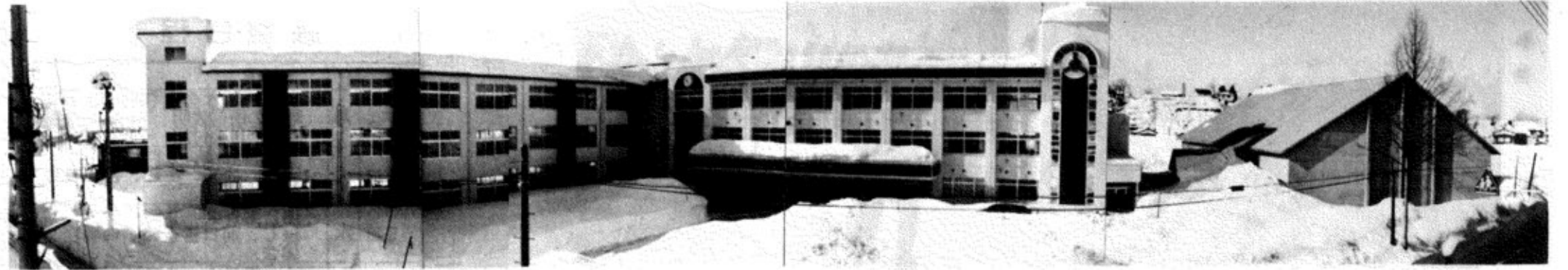
▶ 宝さがし

# 60年度 主な行事結果

(○内数字は日付)

- 4月
  - ④ 町内小・中学校入学式
  - ⑤ 町内保育所入所式
  - ⑳ 田麦山進出工場竣工
- 5月
  - ① 議会臨時会
  - ⑨～⑩ 田麦山農用地開発現地調査団来町
  - ⑬ 建設労働者研修福祉センター建設用地現地調査(労働省及び雇用促進事業団来町)
- 6月
  - ② 県身体障害者体育大会(運動公園)
  - ③ 県庁落成式
  - ⑨ サイクルロードレース大会
  - ⑳～㉑ 議会6月定例会
  - ㉑ 議会合同町内行政視察
  - ㉒ 町老人福祉大会
- 7月
  - ② 観光財団来町(家族旅行村現地調査)
  - ⑪～⑫ 農用地開発現地調査団来町
  - ㉑～㉒ 川口まつり(東京川口会のメンバー来町)
- 8月
  - ⑮ 第35回成人式
  - ㉑ 社会党県議団飯山線視察来町
  - ㉒ 第27回町民体育祭
- 9月
  - ⑮ 敬老会
  - ⑰～⑱ 観光開発財団来町
  - ㉒～㉓ 農用地開発現地調査団来町
  - ㉔ 議会9月定例会
- 10月
  - ② 関越自動車道全線開通
  - ⑨ 時局講演会「高速時代の問題あれこれ」
  - ⑮ 農政講演会「新潟県農業の展開方向」
  - ⑰ 川口中統合10周年式
  - ㉑ 農業振興まつり(駐日米国大使館員来町)
  - ㉒～㉔ 都市と農村の交流全国大会(代々木)
- 11月
  - ①～③ 文化祭
  - ③ 町民芸能まつり
  - ⑤ 町政功労者表彰式
  - ⑨ 泉水小学校創立60周年式
  - ⑮ 狛江市より視察
  - ⑰ 川口地内工場増築工事竣工
  - ㉒ 町長選挙告示(青柳弘町長無投票三選)
- 12月
  - ① 町議補欠選挙投票
  - ⑦ 建設労働者研修福祉センター建設地祭り
- 61. 1月
  - ㉒ 豪雪対策本部設置
  - ㉓ 議会12月定例会
  - ㉔ 県議を中心とした豪雪視察団来町
- 61. 2月
  - ⑦ 県災害救助条例適用
  - ⑩ 建設省・地方道課長木沢地区を視察
  - ⑪ 積雪・383センチ
- 61. 3月
  - ⑭ 中学校卒業式
  - ㉒ 町内小学校卒業式
  - ㉓ 町内保育所卒園式

昨年完成された川口中学校



代の問題あれこれ」②農政講演会「新潟県農業の展開方向」などは有意義な講演といえます。

定住構想の最終目的である工場誘致と工場増築や都市と農村との交流に有効な駐日アメリカ大使館員、東京都狛江市来町なども明るい話題です。

このように、町のきめ細かい場所や各種制度にも配慮され、町民が「いつまでも住み続けたい」と思い、住んでいることが誇りに思えるまちへ一歩一歩進んでいます。

## 60年度(町)公共事業実績一覧表(ソフト面)

事業名	内容
① 川口町史発刊	白袖 A5判 1,200ページ 1冊
② 農業農村整備計画策定	農振の見直し、地域振興計画策定、目標年次昭和70年、B5判80ページ
③ 克雪整備計画策定	東部地区を中心に雪に強い町づくりをめざす
④ 地域農政推進対策	地域農業集団育成、農地の賃貸借による規模拡大、農地銀行活動
⑤ 都市と農村の交流促進	農産物即売会、東京狛江市、練馬区との交流
⑥ 国勢調査	調査日10月1日 町人口6,482人に
⑦ 農用地開発促進調査	田麦山地域の開発地調査
⑧ 人間ドック助成拡大	早期発見、早期治療し医療費の抑制に努めた
⑨ 福祉、生きがい、健康対策	①健康ルーム→週1回、参加者1回平均25名 昭和59年から実施 ②生きがいルーム→俳句(月1回同平均30名) ③社交ダンス(月1回 同平均30名) ワラ加工(冬期間のみ)
⑩ 福祉、家庭奉仕員派遣	昭和44年から実施 派遣対象(老人・身障者)30名
⑪ 国土調査	昭和44年から実施 町面積49.53km <sup>2</sup> の60%終了
⑫ 町独自の福祉制度	①精神障害者等の医療費の助成(今年度14名) ②父子手当の支給(今年度6名)
⑬ 複合営農推進集落育成対策	集落営農計画の策定、研修会、講習会の開催
⑭ 高生産農家育成対策	経営指導、記帳指導
⑮ 新潟米生産費低減モデル集団設置	改善圃の設置、検討会、研修会の開催

## 60年度(町)公共事業実績一覧表(ハード面)

事業名	61年2月末日現在(単位 円)	
	箇所数	事業費
① 東部簡易水道改良	4	384,043
② 川口小学校改築	5	351,986
③ 農村基盤総合整備(西倉・上川・木沢)	21	86,820
④ 町道改良	7	67,513
⑤ きのこ生産施設建設	1	54,256
⑥ ガス熱量調整設備	1	50,003
⑦ 公共土木施設災害復旧	16	42,379
⑧ 農地・農業用施設災害復旧	31	37,176
⑨ 団体営農道整備	2	33,400
⑩ ため池等整備	2	26,000
⑪ 除雪ドーザ購入(車庫含)	1	23,230
⑫ 県単農業生産基盤整備	4	18,100
⑬ ガス改良・新設	6	16,260
⑭ 町道舗装	9	15,322
⑮ ガスホルダー解放検査	1	15,000
⑯ 新潟建設労働者研修福祉センター附帯	3	12,786
⑰ 防火水槽	4	11,218
⑱ スクールバス購入	3	11,050
⑲ その他	37	36,747
計	158	1,293,289

## 昭和60年度 町公共事業実績

# いつまでも住み続けたい町へ

厳しい行財政改革が続く中、昭和六十年年度の町公共事業の概要がこのほどまとまり、東部簡易水道改良や川口小学校改築などに約十三億円が投資されました。

内訳を見ると、ハード面では、昨年に引き続き行われた生活の基礎となる東部簡易水道改良が三億八千四百万円とトップ。次いで川口小学校改築やスクールバス購入、田麦山小学校グラウンド造成などの教育関係が三億六千八百万円。農業基盤総合整備やきのこ生産施設建設、団体営農道整備などの農林業関係に二億二千八百万円の順となっています。

ソフト面では、多くの方々から貴重な郷土資料をお借りし、四年の歳月をかけた、ユニークな郷土史「川口町史」が発刊されました。

町の農業の発展を担う「農業農村整備計画」(目標年次

七十年)や農地賃貸借による規模拡大を促進するための、「地域農政推進対策」、「都市と農村の交流促進」など農業関係事業が十一事業。東部地区を中心とした雪に強い町づくりをめざす「克雪整備計画」も策定中です。

健康面では、人間ドック助成を拡大し、早期発見、早期治療によって医療費の抑制を図り、国保の健全財政の堅持に努めています。

福祉面は、①健康ルーム②生きがいルームを中心とした老人の語らい、趣味を盛り上げた俳句、社交ダンスなどを盛り上げた老人や身障

者には家庭奉仕員を派遣して福祉の充実を図っています。精神障害者等の医療費の助成や父子手当の支給などの町独自の福祉制度も実施しています。

町の将来を見つめ直すに最適な講習会も数多く行われました。①時局講演会「高速時

# 転作



地区別目標面積配分表

地区名	作付可能面積	配分面積	配分面積のうち	
			転作等面積	他用途利用米
八郎場	1,270 <sup>a</sup>	107 <sup>a</sup>	107 <sup>a</sup>	-
上河原	1,456	154	133	16.5
長坂	1,070	90	77	10.0
下村	1,389	118	77	33.0
野田	1,326	112	72	30.0
中山	2,123	193	127	50.5
竹田	956	102	92	7.0
牛ヶ首	232	19	19	-
川口1	415	40	40	-
川口2	35			
川口3	259			
川口4	139			
川口5	155	63	63	-
川口6	162			
川口7	222			
小和北	512	43	36	4.5
相川口	1,347	113	85	21.0
岩出原	2,374	221	101	95.5
山ノ相川団地	78			
荒屋敷	1,216	102	58	36.0
新敷	1,128	95	80	12.5
原新田	2,318	199	136	49.0
中新田	2,278	191	122	55.0
西倉	2,974	250	225	19.5
川岸	655	55	40	11.5
牛ヶ島	3,500	294	294	-
貝之沢	942	79	77	2.0
武道窪	2,336	196	166	21.5
相川1	3,306	278	222	40.5
相川2	2,039	171	171	-
相川3	620	52	40	8.5
荒谷	797	67	67	-
前原	2,106	177	147	23.5
大形	1,863	157	127	24.0
田中	1,199	101	88	10.0
大谷内	783	66	52	11.0
小高	1,995	168	168	-
木沢	1,883	158	158	-
峠	303	25	24	1.0
計	49,761	4,290	3,525	593.5

六十一年度の転作等目標面積が昨年十二月二十日、水田利用再編対策市町村部課長会議で示めされ、県全体で二万八千二百二十ha、当町へは四十二・九ha配分されました。

二年連続の豊作により、国は第三期対策の基本面積である六十万haに戻し、新潟県へ

は前年比一千ha増、当町へは前年比二・二ha増加配分されています。

これに伴い、去る二月二十四日、町水田利用再編対策推進会議で、配分面積四十二・九haを地区別に配分しました。

他用途利用米は、県全体で二百二十七ha減少。他の市町

村が軒並み減少しているなか、当町は過去の実績が認められ、前年度以上の五百九十三・五haが確保されました。

昨年の転作は、四十四ha(達成率一〇六・六%)実施されました。農家のみなさまのご協力ありがとうございました。

今年はこのことを重点的に推進します。

一、転作定着化推進加算制度の積極的な活用

二、転作奨励金の基本額が減額され、加算額が増額されている。

三、地区内で転作物の統一

昭和61年度に4年目を迎える健全管理水田の取扱い

区分	(取扱い)			
	(1年目) 58年度	(2年目) 59年度	(3年目) 60年度	(4年目) 61年度
現行(昭和60年度)の取扱い	○	○	○	○
改正(昭和61年度)の取扱い	○	○	○	○

(注) ○奨励金の交付  
△カウムの対象となる(再開発管理)  
×カウムの対象とならない

農協等との間に水田預託契約が引き続き締結され、常に耕作可能な状態に管理されている場合

## 水田利用再編第3期対策

# 今年 は 42.9 ha

### 各地区へ配分される

化を進める。

二、団地化、集団化の一層の促進

三、青刈稲、保全管理の解消

四、転作物の収益性を向上

保全管理水田は、四年目を迎え、取扱いが次のように改正されました。

## 会期日程

月日	予	定
3月3日	招集の所信表明、一部即決	本会議(第1日)9時
4日	連絡審査会、文書審査、各委員会	9時
5日	連絡審査会、文書審査終了の場合、	9時
6日	総務委員会、一般質問通告期限	9時
7日	社会文教委員会(議案調査)	9時
8日	(休日)	
9日	産業建設委員会(議案調査)	9時
10日	議員協議会(議案調査)	9時
11日	( " )	
12日	( " )	
13日	( " )	
14日	( " )	
15日	本会議(第2日)一般質問・委員長報告	9時

昭和六十一年度予算や条例の改正等重要な案件が審議される町議会三月定例会は、三月三日から十三日間の予定で開催され、審議中です。

町議会三月定例会は、町条例で定められた三月・六月・九月・十二月の定例会の中で最もウェイトの高い審議内容が集中します。

高速交通時代突入の昭和六十年代に、町がどのような方向を示し、発展を図ろうとしているのか、自分達の町がどのように変わろうとしているのかを知る上で町議会を傍聴することは住民の大きな役割の一つです。

## 町議会

# 3月定例会

町議会を傍聴してみませんか

一手続きは簡単です

議会の定例会は、3月・6月・9月・12月と年に4回開かれることになっています。

3月定例会では、その年の川口町の予算が、9月定例会では前の年の決算が審議されます。

手続きは簡単です。

議会事務局にある用紙に、住所(地区名)と氏名を記入していただくだけです。

## 条例

### 一部改正

- 町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例
- 町職員の休日・休暇に関する条例
- 督促手数料及び延滞金徴収条例
- 町税条例
- 老人憩いの家設置及び管理に関する条例
- 総合福祉センター設置及び管理に関する条例
- 川口農村教養文化体育施設の設置及び管理に関する条例
- 運動公園の設置及び管理に関する条例

## 制定・廃止

- 道路占用料徴収条例の制定
- へき地保育所条例等の廃止
- 町立学校施設使用料条例
- 学校給食センター設置条例
- 町交通安全対策会議条例
- 町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例
- 町国民健康保険条例
- 水道条例

## 予算

### 61当初

- 一般会計
- 国民健康保険特別会計
- 老人保健特別会計
- 簡易水道事業特別会計
- ガス事業会計

## その他

- 町教育委員会委員の選任
- 町区域内の字の変更
- 町宮土地改良事業の施行
- 町道路線の廃止
- 町道路線の変更
- 町道路線の認定
- 小千谷市川口町衛生消防組合の負担金の分賦割合の一部改正
- 町辺地総合整備計画の変更
- 魚沼食肉センター組合規約の変更

## 60・3月補正

- 専決処分事項の承認(一般会計補正第五号)
- 一般会計補正(第六号)
- 国民健康保険特別会計補正(第三号)
- 老人保健特別会計補正(第三号)
- 簡易水道事業特別会計補正(第三号)
- ガス事業会計補正(第三号)

### スポーツの町宣言

#### 町民少年少女アルペン大会

日時 3月16日(日) AM 8:00～  
 場所 川口スキー場  
 種目 回転(光電管使用)  
 組別 ①小学低学年男・女(1～4年)  
 ②小学高学年男・女(5～6年)  
 ③中学男・女  
 対象 町内小中学生(ジュニアスキークラブ員を除く)

参加料 無料(リフト代は自己負担)  
 申込み 川口スキー協会  
 (町教育委員会内)

申込み締切り 3月8日  
 その他 賞品有

#### 第2回川口ジュニアスラローム大会

対象 近隣市町村ジュニアスキークラブ員  
 参加料 700円  
 その他は上記大会と同じ

当町初のアルペン総合優勝者出る!! 郡中学校新人スキー大会(二月二十一日、広神



川口中学校2年 星野泰之君

所屬。同協会は六年前に発足し、町スキー協会八名がジュニアの指導にあたっています。

星野君は、川口ジュニアスキークラブ(会長小宮山豊彦・メンバー小中学生十九名)に所属。同協会は六年前に発足し、町スキー協会八名がジュニアの指導にあたっています。

### 郡中学校新人スキー大会

**星野泰之君**  
**アルペン** 総合優勝

星野君ら同スキークラブの指導の成果が出、昨年から頭角を表わし、今シーズンからアルペン種目が川口中学校の部活動として認められ、この活躍となったもの(中学校の授業はノルデックだけ)。

星野君は、郡中学校スキー大会(一月九日、湯之谷)大会でも活躍しています。川口ジュニアスキークラブには有望な選手が多数おり、

▽回転	優勝 星野泰之(二年)
五位	大瀧正文(一年)
六位	小林祥晴(二年)
▽大回転	二位 星野泰之(二年)
六位	大瀧正文(一年)
▽郡小学校親善スキー大会結果	
▽男子リレー	2位 小出町
三位	泉水小
▽女子リレー	六位 泉水小

### 記録カード提出願います

(体力づくり100日運動)

体力づくり100日運動(家族みんなで一汗運動)100日達成家族は3月10日までに記録カードを町教育委員会まで提出してください。達成証をさし上げます。



### ヤング紹介④

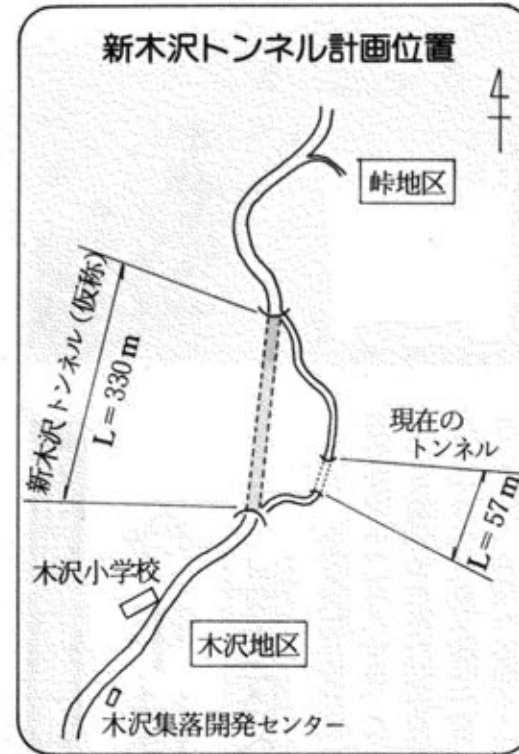
川口町はいつも除雪がきれい



田麦山 桜井加代子さん

桜井加代子さんは、田麦山から小千谷市の会社に勤めている明るい女性です。

- Q 趣味は何んですか。  
 A ドライブです。  
 Q 休日は何をしていますか。  
 A ショッピングしたり編み物したり…  
 Q 理想の異性像は？  
 A いっしょにいと笑いがたえないような人。  
 Q 若さの証明とは？  
 A 大きな声で笑えることかな。  
 Q 今の仕事の満足度は。  
 A いろいろな方と接することができて楽しい。  
 Q 好きな「ことば」は。  
 A 「夢絆」  
 Q 町への要望は。  
 A このまま緑を大切に、のどかな町であってほしい。  
 Q 川口町のよいところは。  
 A 除雪がいつもきちんとしてあってたすかります。  
 Q 今、やりたいと思っていることは。  
 A いろいろな料理を勉強したい。  
 Q 将来の夢を一言どうぞ。  
 A 温かい家庭を築くことです。  
 Q 最後に自己アピールを！  
 A 笑い上戸な私です。よろしく！



豪雪の中、去る二月十日建設省道路局駒田地方道課長が木沢地区を視察しました。視察の目的は豪雪と木沢、峠、川口間の主要地方道小千谷川口大和線の改良計画。特に新木沢トンネル(仮称)は、昭和六十二年着工に向けて青柳町長はじめ地元民から強い要望を受けていました。同路線の全体計画は、延長

### 木沢地区

## 新木沢トンネル(仮称)

### 町制施行30周年(S62)に着工へ

建設省、地方道課長が視察 2/10

六千メートル(川口、峠間)幅員七メートル、総事業費十六億七千万円。昭和四十八年に着工し、昭和六十年までには延長二千二百一メートルに六億六百万円が投資されています。残る、三千八百八十九メートルの最大工事が新木沢トンネル(仮称)。



新木沢トンネル(仮称)早期実現に向けて地区民から強い要望を受ける駒田地方道課長

七メートル。木沢側トンネル出入口が急カーブの上、幅員が狭いため冬期間交通に支障があり、木沢、峠地区民から改良促進の強い要望が前から出されていました。計画された新木沢トンネル(仮称)は、現在のトンネルの西側百五十メートルに並列され、延長は三百三十メートル、事業費八億五千万円を予定。昭和六十二年は、町制施行三十周年。記念すべき年からの着工に向けて準備が進んでいます。



### 木沢

## 除雪車庫が完成

### 木沢

木沢地区に待望の除雪基地となる除雪車庫が、このほど完成し、地区民に喜ばれています。

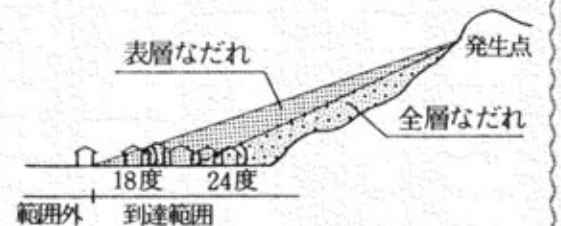
この車庫には除雪車一台と雪上車一台が収納できます。管理室、仮眠室も設置され、木沢、峠、牛ヶ首地区(除雪計画延長3km)への除雪基地として利用されます。

町内の車庫は現在三ヶ所。昭和五十年の防雪サブセンターから田麦山、木沢基地と五年毎に完成しています。

場所は木沢集落開発センターとなり。鉄骨造り平屋建六十一㎡、事業費五百八十三万円。

## “なだれ”に注意しよう

能生町を襲った表層なだれ(1月26日発生)は、記憶に新しいことと思います。毎年当町でも3月～4月にかけて“なだれ”が発生しています。なだれの兆候が発見された時は町役場へ。



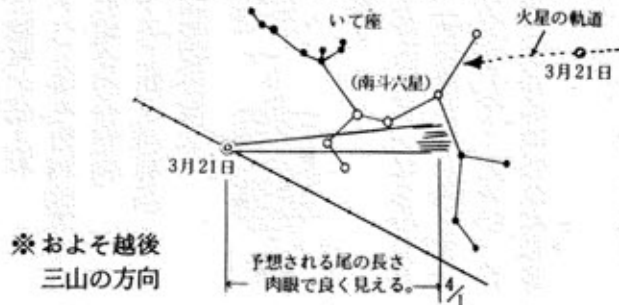
川口町からハレーすい星を肉眼で見れるチャンスがやってきました。見ごろは三月二十一日午前三時から四時頃。この頃は月が西に沈み、太陽がまだ出ないため最高の時間帯です。東南の方向(目印は越後三山の方向)の、いて座の中におり、尾の長さは肉眼で良く見える。地平線からの高度は十二度ほどのため、山のすぐ上あたりに見えるとのこと。次に見れるのは二〇六一年です。ハレーすい星は二月九日に近日点(太陽に最も近い点)を通過、ここで方向をかえて、帰りの旅路についた。近日点

# 3月21日頃 肉眼で見えます



を離れた一ヶ月後、ハレーすい星は地球から打ち上げられた日本の探査機「すいせい」の

ハレーすい星  
3月21日 午前3～4時頃の位置(東南の方向)



訪問を受ける。水素コロナの紫外線撮影や太陽風などの観測を行う予定になっている。また、観測の成果は彗星の起源はもちろん、宇宙の起源の謎まで解明されるかもしれない。四月に入ると、ハレーすい星はスピードをあげ、さそり座の尾をかすめ、おおかみ座・ケンタウルス座・うみへび座へと西進します。川口町からいて座やさそり座は充分見えますので、是非ご覧下さい。四月十一日第二回目の地球接近は高度が低くて、川口町からは見えません。ハレーすい星を良くみるラストチャンスは四月二十四日。この日は満月ですが、午後九時一〇分から十時十四分まで皆既月食がおきます。ぜひ、この時南の空を狙ってみてください。五月以後は望遠鏡を使った観察が必要になります。彗星のような広がった天体の明るさは、なかなか決めるべく、予報も難しいため、多少の誤差が出てくると思います。(資料・北魚沼地区理科教育センター 今井先生)

## 土地取引のまえに

# 当町は10,000㎡以上 届出が必要です

10,000㎡以上の土地取引をする場合  
事前に届出が必要

- 売買
- 営業譲渡
- 代物弁済
- 予約完結権、買戻権等の譲渡
- 共有持分の譲渡
- 譲渡担保
- 交換
- 地上権、賃借権の設定、譲渡

37万<sup>2</sup>km<sup>2</sup>の日本国土は、生活と生産を通ずる活動の基盤として私達が祖先から受けつぎ、後代に伝えてゆかなければならない大切な資源です。私達は、豊かな自然に恵まれたこの国土を、大切に、有効に利用して行かなければなりません。土地の買い占めや、地価の暴騰で国土利用を混乱におとし入ることのないよう、乱開発など未然に防ぐため、国土利用計画法により、一定面積以上の土地の取引について知事に対する届出が義務づけられています。一定面積とは、取引する対象土地が次のいずれの区域であるかによって異なります。

(イ) 市街化区域 二〇〇〇㎡以上  
(ロ) (イ)を除く都市計画区域 五〇〇〇㎡以上  
(ハ) 都市計画区域以外の区域

### 届出は契約を結ぶ 6週間前までに

### 遊休土地

川口町は、(イ)の区域に該当します。なお、一筆ごとの面積は小さくても、合計して一定の面積となる一団の土地取引は、届出が必要です。届出の時期は、土地取引の契約を結ぶ6週間前までに、当該土地が所在する市町村長を経由して、県知事に届出なければなりません。届出を受けた知事は、取引価格と利用目的を審査をし、不適正と認めるときは、取引の中止または変更を勧告することがあります。また、届出をして取得した一定面積以上の土地が三年たっても利用されていない場合は、知事はその土地を「遊休土地」に指定し、所有者に土地の積極的利用のために必要な助言や勧告をします。くわしくは役場企画課へおたずねください。

## 国民年金保険料 4月から7,100円に

国民年金保険料は、昭和60年の年平均の全国消費者物価指数が発表されたことに伴い4月から月7,100円に改められます。また、61年4月から62年3月までの期間を前納する場合、定額保険料は83,140円となり、2,060円お得です。今回の年金法改正により基礎年金が導入され給付についても、老令基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金となり、なかでも婦人の年金権確立、障害基礎年金が充実された、

従来の寡婦年金、死亡一時金は国民年金独自の給付となり4月からスタートすることになりました。20歳以上60歳未満のすべての人が国民年金の被保険者となり将来基礎年金を受給するうえにも年金給付の財源となる保険料も引き上げが必要になります。年金制度を健全運営していくためにも保険料引き上げについて、ご理解をお願いします。

区分	年金額	月額
(国民年金) (注1)	円	円
10年年金	387,100	32,258
5年年金	329,500	27,458
20年年金(モデル)	537,200	44,767
(現行最長期間加入者・単身)		
障害年金(1級)	778,500	64,875
"(2級)	622,800	51,900
母子年金(子1人)	809,600	67,467
母子加算	622,800	51,900
母子加算	186,800	15,567
老齢基礎年金(注2)	622,800	51,900
障害基礎年金(1級)	778,500	64,875
"(2級)	622,800	51,900
遺族基礎年金(子1人)	809,600	67,467
基本加算	622,800	51,900
基本加算	186,800	15,567

注1 旧法によるもの  
注2 新法によるもの

## 届出をしないと

- ①法律で罰せられます。  
届出をしないで土地取引をしたり、偽りの届出をすると、6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金に処せられることがあります。
- ②税法上の特典がうけられなくなることがあります。  
(1)届出をしないで土地を譲渡すると、特定住宅地造成事業等のために土地を譲渡した場合の譲渡所得の特別控除の適用が受けられなくなることがあります。  
(2)届出をしないで造成宅地などを譲渡すると、法人等の土地譲渡益重課の適用除外措置が受けられなくなることがあります。



## 一団の土地取引とは

個々の取引面積は小さくても、合計していくと一定面積以上となる図のような一団の土地取引は個々の取引それぞれについて届出が必要です。

